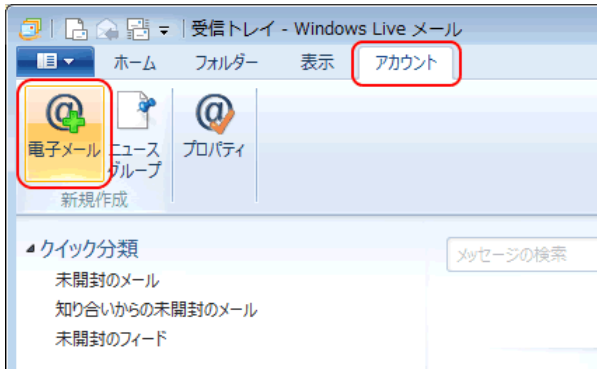
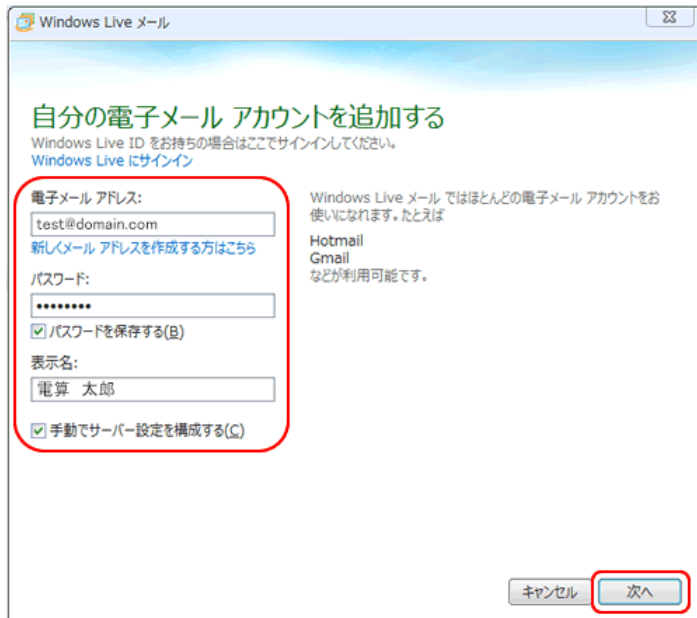


Windows Live メール 2011・2012

1. Windows Live メール を起動します。
(「自分の電子メールアドレスを追加する」の画面が表示された場合は、3へ進んでください。)
2. [アカウント] タブを開き、[電子メール] をクリックします。



3. 電子メールアドレスの追加画面が表示されます。
以下のように設定し、[次へ] ボタンをクリックします。

A screenshot of the '自分の電子メールアドレスを追加する' (Add your email address) dialog box in Windows Live Mail. The title bar reads 'Windows Live メール'. The main heading is '自分の電子メールアドレスを追加する'. Below the heading, there is a note: 'Windows Live IDをお持ちの場合はここでサインインしてください。 Windows Live にサインイン'. The form contains the following fields: '電子メールアドレス:' (Email address) with the value 'test@domain.com', 'パスワード:' (Password) with a masked input, '表示名:' (Display name) with the value '電算 太郎', and a '手動でサーバー設定を構成する(C)' (Manually configure server settings) checkbox which is checked. To the right of the form, there is a note: 'Windows Live メールではほとんどの電子メールアドレスをお使いになれます。たとえば Hotmail Gmail などが利用可能です。' (In Windows Live Mail, you can use almost all email addresses. For example, Hotmail, Gmail, etc. can be used). At the bottom right, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '次へ' (Next), with '次へ' highlighted by a red box.

- 電子メールアドレス : ご利用される独自ドメインのメールアドレスを入力します。
- パスワード : 会員登録通知書のメールパスワードを入力します。
- 複数のメールアドレスを取得されている場合、入力したメールアドレスと同じ行にある物を入力して下さい。
- メールアドレス、パスワードは大文字・小文字を区別します。間違えないように入力して下さい。
- パスワードを保存する : 任意でチェックを入れます。
- チェックをすると、接続のたびにパスワードを入力する必要がなくなります。1台のパソコンを複数の人が利用する場合など、他の人にメールを見られたくない場合はチェックをせず、接続のたびに入力することをおすすめします。
- 表示名 : 差出人様のお名前や会社名などを入力します。
- ここで入力した表示名がメールの送信先にお客様の名前として表示されます。
- 手動でサーバ設定を構成する : チェックを入れます。

4. [電子メールサーバー] が表示されますので、以下のように設定し、[次へ] をクリックします。

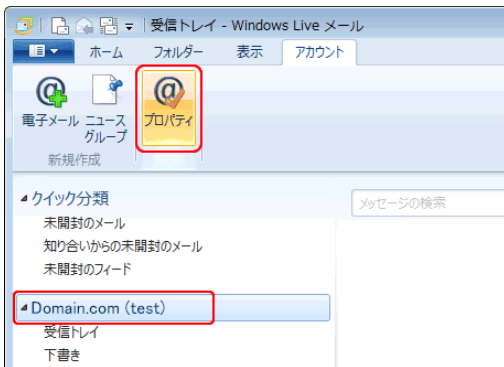
受信サーバ情報

- サーバーの種類 : POP3
- サーバーのアドレス : 会員登録通知書の POP サーバ名
(通常、独自ドメインの前に po.をつけたものになります。)
- ポート : 110 (規定値)
- セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 : チェックなし
- 次を使用して認証する : クリアテキスト
- ログオンユーザー名 : (電子メールアドレスとは異なります)
あらかじめメールアドレスの@より前の部分が入っていた場合は削除し、
会員登録通知書のメールアカウント(小文字の c または p で始まる半角英数字の文字列)を入力します。
複数のメールアドレスを取得されている場合、3 で入力したメールアドレスと同じ行にある物を入力して下さい。

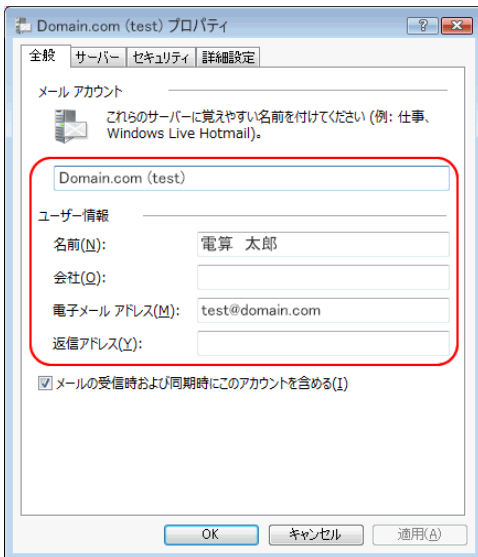
送信サーバ情報

- サーバーのアドレス : 会員登録通知書の SMTP サーバ名
(通常、独自ドメインの前に po.をつけたものになります。)
- ポート : 587 (規定値 25 を消して入れ直してください)
- セキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 : チェックなし
- 認証が必要 : チェックをいれます。

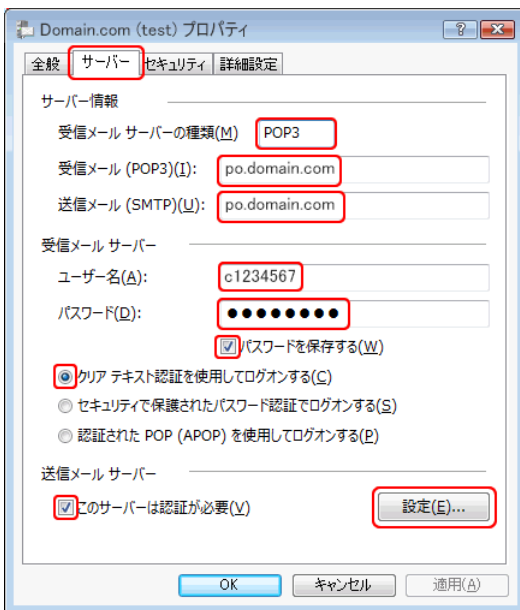
5. 「電子メール アカウントが追加されました」と表示されます。[完了] ボタンをクリックします。
Windows Live メール の画面に戻りますので、引き続き詳細設定を行います。



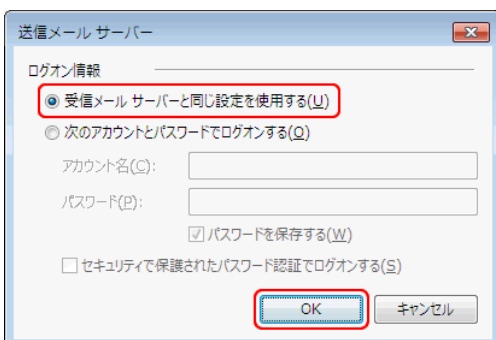
6. [アカウント] タブを開いて、作成したアカウントを選択し、[プロパティ] をクリックします。



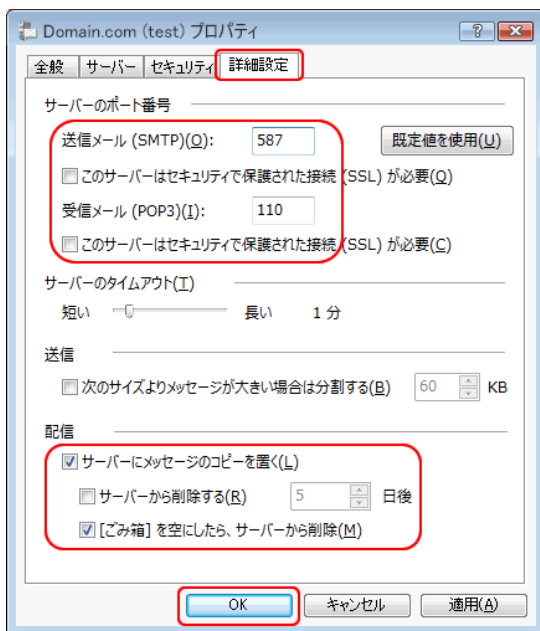
7. プロパティの [全般] タブが表示されます。各項目を確認し、[サーバー] タブをクリックします。
- メールアカウント
任意の名前を入力します。
名前
差出人の名前やニックネームを入力します。
電子メールアドレス
メールアドレスを入力します。



8. [サーバー] タブが表示されますので設定を確認します。
- 受信メールサーバーの種類：POP3
受信メール(POP3)：会員登録通知書の POP サーバ 名
送信メール(SMTP)：会員登録通知書の SMTP サーバ 名
ユーザー名：会員登録通知書のメールアカウント
パスワード：会員登録通知書のメールパスワード
(文字は で表示されます。)
パスワードを保存する：任意でチェックを入れます。
クリアテキスト認証を使用してログオンする：
チェックを入れます。
このサーバは認証が必要：チェックをいれます。



画面右下の [設定] ボタンをクリックします。「送信メール サーバー」の画面が表示されますので、[受信メール サーバーと同じ設定を使用する] にチェックが入っていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



9. [詳細設定] タブをクリックします。
設定を確認できましたら [OK] をクリックします。以上で設定の確認は完了です。

送信メール (SMTP) : 587

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 : チェックなし

受信メール (POP3) : 110

このサーバーはセキュリティで保護された接続 (SSL) が必要 : チェックなし

サーバーのタイムアウト : 通常は設定変更の必要はありません。

接続速度の遅い環境でご利用の場合に容量の大きいメールを受信する際や、サーバーから応答がない場合にタイムアウトになる事があります。このような時はスライダーを右に動かす事でタイムアウトまでの時間を長くしてください。

送信 次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する : 通常使用しません。

サーバーにメッセージのコピーを置く

この設定は任意で行います。チェックを入れると、受信するメールをサーバーに残す事ができます。複数台の PC やモバイル機器などで同一アドレスを利用する場合にはチェックを入れます。

(チェックをつけない場合、受信が完了したメールはサーバーから削除されるため、他の PC やモバイル機器などでの受信・WEB メールなどからの閲覧ができなくなります。)

サーバーから削除する

サーバーにメッセージのコピーを置く日数を設定します。

この設定は任意で行います。アラートのサーバは 30 日間メールが保存されます。

「ごみ箱」を空にしたら、サーバーから削除

Windows Live メールで削除したメールをサーバーから削除するかチェックします。

この設定は任意で行います。

以上でメールの設定は完了です。

自分宛にメールを送信し、受信できるかどうか試してください。

今後、メールアカウントの設定を確認する場合は、手順 6 からプロパティを表示して設定内容をご確認ください。